

グリーンインフラってなに？

生命科学部 産業生命科学科
環境政策学研究室

研究室HP



「グリーンインフラ」とは、自然が持つ多様な機能を賢く利用することで、持続可能な社会と経済の発展に寄与するインフラや土地利用計画



自然環境には、雨を地面にしみこませて洪水を防いだり、豊かな木々が夏の暑さをやわらげたり、生き物のすみかをつくったりする、さまざまな働きがあります。

グリーンインフラは、こうした自然環境が提供するさまざまな恵み(=生態系サービス)を、社会のインフラとして活かし、社会問題の解決と共に、防災や環境保全、地域活性化にもつなげることができます。

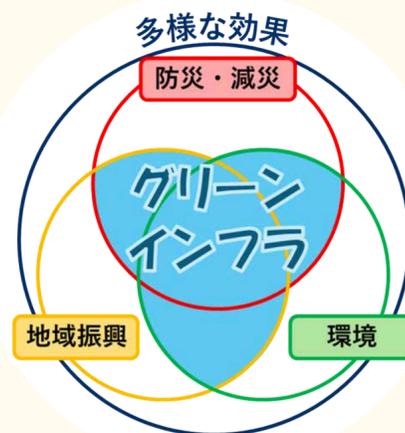
従来のコンクリートによる「グレーインフラ」と「グリーンインフラ」それぞれの良さを組み合わせ、持続可能な社会と経済の発展に寄与するアプローチです。

社会課題

- 安心・安全で持続可能な国土の管理
- 生活の質の向上
- 生物多様性の劣化

自然環境が有する機能

- 良好な景観形成
- 生物の生息・生育の場所の提供
- 健康・レクリエーション等文化提供



グリーンインフラストラクチャー～人と自然環境のより良い関係を目指して～,国土交通省総合政策局 環境政策課,平成29年3月を基に作成

雨庭

「雨庭」とは、屋根や舗装面に降った雨水を下水道に直接放流することなく一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる構造を持った植栽空間。修景・緑化、水質浄化、ヒートアイランド現象の緩和などの効果も期待されています。



公園や広場

緑豊かな歩行空間や広場が、憩いの場の創出やワークスペースを提供します。さらに、多様な植栽や水辺空間などが都市の中の小さな生息空間(ハビタット)となり、昆虫、鳥類、小動物などの生物を呼び込みます。



霞堤

堤防の一部に開口部を作り、洪水が発生した時に開口部から逆流し、下流の流量を減らすことができます。周辺に水が広がることで地下に水がしみ込みやすくなり、湿地や植物の生育、生物の生息地としても重要な環境が保たれます。



普及啓発に向けた研究室の取り組み

雨庭の普及啓発ツール「雨庭カプセルトイ」 ～組み立てて楽しむ、雨庭の魅力～

京都市に整備されている雨庭をモチーフにした組み立て型カプセルトイを開発！ひとつひとつの部品を組み立てることで、お子様から大人まで楽しみながら雨庭の構造や機能を学べます。



グリーンインフラプラットフォーム 「GREEN INFRASTRUCTURE BASE」 ～次世代のグリーンインフラ教室～

「Cluster」というアプリケーションにて、オリジナルキャラクターを作成し、ジェスチャー機能やボイスチャット機能を使って、同じ空間を共有したリアルな交流を築くことができます。



課題解決型グリーンインフラカードゲーム「グリーンズ」 ～地球を救う手を、あなたの手で～

<遊び方>
3～6人のプレイヤーで、アイテムカードを使いながら、現代社会の課題解決の方法を考案・発表し、成功か失敗かを多数決で判定します。



雨庭の普及啓発グッズ「雨庭ステッカー」 ～若者の手に雨庭を～

雨庭の維持管理ボランティアへの関心を高めることを目的として、まずは雨庭を知ってもらうために、若者の流行りかつコミュニケーションツールにもなっているステッカーに注目！スマホや手帳など、手軽に好きな場所に雨庭を貼ることができます。



グリーンインフラを学ぶことで、地球にも人にもやさしい社会をつくることができます！

「地域活性化」「環境保全」「防災」「生物多様性」に関心のあるあなたへ。

自然の力を活かしたアイデアで、これからの暮らしやすい地域・持続可能な未来を、一緒に考えてみませんか？